

テーマ設定型提案募集シート

件名	ゼロカーボンシティ実現に向けた下水処理場の脱炭素化事業
解決したい課題	【現状】 市役所の事業活動に伴う温室効果ガス総排出量は 2022 年度では約10、408t-CO₂あり、このうちの約7割が電気の使用に伴うものです。 市の温暖化対策実行計画では、2030 年度までに、温室効果ガス総排出量を 2013 年度比で58%以上削減することを目標としており、電気の使用に伴う排出について脱炭素化を図る必要があります。 【目指す姿】 2030 年度の市役所の事業活動に伴う温室効果ガス総排出 3,813t-CO₂以下を達成するため、国の地域脱炭素ロードマップにおいて、2030 年度までに公共施設の約 50%に太陽光発電を導入することを見込んでいることから、築地にある市有地(20万㎡)を提供し、最大限の再生可能エネルギーの発電設備導入を目指します。
市が提供可能な資源等	下水道推進室:下水処理場図面、下水処理場電気使用量(年間) 財産活用課 :築地図面、土地維持管理費 環境政策課 :木更津市温暖化対策実行計画
留意点	市に新たな財政負担が生じないこと 財産活用課 :地下にガス管、地上に看板、上空に高圧電線あり。再エネ設備の設置規模、場所について各設置事業者と協議要。
参考情報	■ 木更津市地球温暖化対策実行計画 https://www.city.kisarazu.lg.jp/shisei/keikaku/keikaku/1006395.html ■ 公共施設カルテ<2022年度版> https://www.city.kisarazu.lg.jp/material/files/group/16/karute2022.pdf ■ 令和 6 年度予算及び令和 5 年度補正予算脱炭素化事業一覧 https://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/enetoku/2024/ ■ 重点対策加速化事業（環境省HP） https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/grants/#business2
事業担当部署	下水道推進室:下水処理場に関すること 財産活用課 :築地の土地に関すること 環境政策課 :地球温暖化対策に関すること

制度担当部署	企画部 オーガニックシティ推進課 公民連携係
--------	------------------------

※この様式によりがたい場合は、任意の様式で作成して構いません。